

本願寺御影堂門の 建築部材における¹⁴C年代測定

¹⁴C-Dating of Architectural Members
of the Founder's Hall Gate, Honganji Temple

横山 操・杉山淳司・川井秀一・坂本 稔

YOKOYAMA Misao, SUGIYAMA Junji, KAWAI Shuichi and SAKAMOTO Minoru

①はじめに

②本願寺 沿革

③部材調査

④考察

[論文要旨]

著者らは、歴史的建造物由来古材が単なる建築史資料として重要であるばかりではなく、出自の明確な歴史的木質材料としての価値を有することに着目し、材料工学的資料として捉える上で必要となる材料の履歴を得るための試みとして、古材の年代評価に取り組んでいる。

ここでは、本願寺（通称・西本願寺）御影堂門の建築部材を対象としてAMSによる¹⁴C年代測定を行った結果について、本願寺の沿革から御影堂門の成立についての史資料、ならびに解体修理の際に発見された記銘瓦に刻印された年号などの情報と矛盾の無い結果が得られたことを報告する。

【キーワード】 AMS, ¹⁴C年代測定, 本願寺, 文化財建造物, ケヤキ